

## 一般質問の質問者順番と質問事項

(令和7年 第1回定例会)

質問順位	5 1番議員 工藤絵美子	
質問事項1	子宮頸がんワクチンと女性の健康について	
質問の要旨	<p>子宮頸がんワクチンは、平成25年度から予防接種法による定期の予防接種として公費で接種できる予防接種の1つとなったが、同年6月以降、接種後にワクチンとの因果関係が否定できない「多様な症状」を呈する人が一定数存在したため、国は積極的な推奨を差し控えることとした。その後検討が重ねられた結果、令和4年4月より積極的な推奨が再開されている。</p> <p>子宮頸がんの発症は20代から急増し40代でピークを迎えるため、マザーキラーとも呼ばれているが、唯一ワクチンで予防ができるがんであるため、子宮頸がんワクチン接種が重要な鍵となる。</p> <p>本町の子宮頸がん対策の現状と今後の取組について問う。</p>	
具体的な質問及び質問の相手	<p>(1) 子宮頸がんワクチンの接種対象者について                      ア 令和6年度対象者数を学年別に示せ                      イ 令和6年12月末時点での接種完了者数と接種率を学年別に示せ</p> <p>(2) キャッチアップ接種対象者における接種完了者数とその接種率について示せ</p> <p>(3) 本町において子宮頸がんワクチン接種による副反応等の報告があれば示せ</p> <p>(4) 子宮頸がん予防のためのワクチン接種率向上や子宮頸がん検診受診率向上に向けた課題と今後の取組を示せ</p>	<p>町長</p> <p>町長</p> <p>町長</p> <p>町長</p>

## 一般質問の質問者順番と質問事項

(令和7年 第1回定例会)

質問順位	5 1番議員 工藤絵美子	
質問事項2	合併処理浄化槽の町営化について	
質問の要旨	<p>1985年に浄化槽法が施行され40年が経過した。2000年には単独処理浄化槽の新設が原則禁止となり合併処理浄化槽への転換が努力義務化されている。本町においても合併処理浄化槽設置が進められてきているが、設置から年数が経ち、経年劣化による修理や修繕が増加している状況がある。</p> <p>公共下水道整備区域との公平性を保つ上で、合併処理浄化槽に対する今後の取組について問う。</p>	
具体的な質問 及び 質問の相手	<p>(1) 公共下水道接続世帯数、合併処理浄化槽設置世帯数、単独処理浄化槽設置世帯数、汲み取りし尿処理世帯数を示せ</p> <p>(2) 合併処理浄化槽の維持管理に対する補助の内容について示せ</p> <p>(3) 令和4年度と5年度の浄化槽法定検査の受検率を示せ</p> <p>(4) 合併処理浄化槽の町営化についての考えを示せ</p>	<p style="text-align: right;">町長</p> <p style="text-align: right;">町長</p> <p style="text-align: right;">町長</p> <p style="text-align: right;">町長</p>